

事業所名

ひかり岩見沢5条(放課後等デイサービス)

支援プログラム(参考様式)

作成日

R7年

1月

27日

法人(事業所)理念		家庭的な支援と遊びの中に何か1つ(療育の縛りではなく関りの中で支援していく。)						
支援方針		<p>○集団療育:遊びの中で社会性を学ぶためのトレーニングや支援を行います。ソーシャルスキルトレーニング(SST)を取り入れながら、集団生活のルールを学び、自己表現の仕方・人との距離感や関係性の構築・向上心・問題解決能力・自己決定能力を引き出していきます。</p> <p>○非日常を体験できるレクリエーション:楽しみながらチャレンジする心を育てます。できる喜びを増やし、社会性・コミュニケーション能力の向上、郊外学習などの経験を通じて、子どもたちの「出来る」「喜ぶ」「楽しむ」を増やします。</p> <p>○保護者様のレスパイト:保護者様の不安を和らげる情報発信や勉強会を開催し、地域に開かれた事業所を目指します。</p>						
営業時間		9時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>①身だしなみ → 基本的な衛生面を習慣化できるようサポートしていく。</p> <p>②ルールにそった活動 → 小集団や集団での活動のルールを伝えていく。</p> <p>③異性との関わり → 家族、友だち、異性それぞれの距離感について伝えていく。</p>						
	運動・感覚	<p>①全体指示の聞き方 → 話している人に着目できるように環境設定する。</p> <p>②もの作り → 毎月のカレンダー作りや壁面製作をし、指先の感覚を身につけ、イメージを具体的化する力を育てていく。</p> <p>③余暇活動での体験 → 生活の質を向上させ、楽しい生活が送れることを目的としている。</p>						
	認知・行動	<p>①視覚支援 → ホール内に、視覚支援を取り入れ、誰にでもわかりやすい支援を行う。</p> <p>②危険認知 → 活動中の危険な行動について、適切な注意喚起を促していく。</p>						
	言語 コミュニケーション	<p>①伝え方方法 → 相手にわかりやすく伝える方法を大人がレクチャーしていく。「5w1h」を意識できるようにリードしていく。</p> <p>②お友だちとの言葉のやりとり → 子どもたちのやり取りに職員が入り、会話の橋渡しをしていく。</p>						
	人間関係 社会性	<p>①挨拶 → 来所時の挨拶や活動開始と終了の挨拶など、定着していくよう声かけをしていく。</p> <p>②情緒の安定 → 気持ちに寄り添い、個別に対応する環境設定をしている。</p> <p>③価値観の違い → 人それぞれの考え方の違いを伝えていく。</p>						
家族支援		日々の様子は送迎時やHUGにてお伝えしています。また、必要に応じて電話やLINEを活用し保護者からの相談を受けています。半年に1度は面談を行い、保護者の相談や意向をお聞きしています。			移行支援		学校に訪問し、様子を見させていただいたり、先生からお話をお聞きしています。また、事業所での様子もお話させていただき、共通して取り組むことができるよう、どのようなことが必要なかをすりあわせ、体制を整えています。	
地域支援・地域連携		市で行っている事業所部会に積極的に参加し、他の事業所、相談支援事業所との交流を深め、情報共有を図っています。			職員の質の向上		外部研修・内部研修に積極的に参加してもらい、職員一人ひとりの研修の機会が確保されています。また、年に2度の事業所間研修も行き、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。	
主な行事等		毎月誕生会、映画ごっこ、サッカー教室を行っています。その他は、夏祭りやムーブメント遊び、ボーリング大会もあります。ひかり全体としては、イージーベースボール大会やよきこい交流、来年度は、モルック大会を予定しています。また、季節に合わせた活動も取り入れています。						